

第4回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第4回安曇野市環境審議会
2	日時	令和2年3月17日(火) 午後2時00分から午後5時15分まで
3	会場	本庁舎 大会議室
4	出席者	環境審議会 浅川行雄 会長、植松晃岳 副会長、樋口嘉一 委員 藤澤昇 委員、望月静美 委員、横田耕太郎 委員、口村孝 委員 二條久男 委員、酒井文雄 委員、北野聡 委員、岡江正 委員 降旗幸子 委員、飯沼千賀子 委員、井上和行 委員、小池晃 委員 堀井三郎 委員
5	市側出席者	安曇野市 市民生活部 宮澤部長、環境課 深澤課長、 環境課 環境保全担当 百瀬係長、環境政策係 藤森係長、土屋主査、斉藤主査 高山主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0名
8	会議概要作成年月日	令和2年3月24日

協 議 事 項 等

【進行表】

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
  - (1) 環境基本計画 令和元年度 年次報告書について【資料1-1, 2】
  - (2) 安曇野市環境行動計画(2018-2022)の一部見直しについて【資料2】
  - (3) 環境基本計画 令和2年度 実施計画書について【資料3】
4. その他
  - ・令和元年度 安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果【資料4】
5. 意見交換
6. 閉会

【議事】

報告事項(1) 環境基本計画 令和元年度 年次報告書について  
 <環境課から説明>

《各ワーキンググループでの審議》

<評価・意見>

【グループA】

- ・審議会の評価については、No. 1～2まで全て達成状況と同一。  
(No. 1)
- ・ながの電子申請サービスについて周知した方が良い。  
(No. 2)
- ・生育情報の報告については、アプリを活用してはどうか。

(No. 13)

- ・目標①について、実施結果が目標の70%にとどまった原因の分析をし、改善方法等を記載すべきではないか。
- ・間伐材を供給する仕組みを確立する取り組みを進めるべきではないか。

(No. 14)

- ・目標②について、新規来場者を増やす企画、方法等を検討すべきではないか。

(No. 15)

- ・「運営母体の確立」について具体的に記載すべきではないか。

(No. 16)

- ・過年度を含め、費用対効果の検証をするべきではないか。
- ・市の方針を明確にするべきではないか。

(No. 21)

- ・農作物被害金額について、前年度の金額で評価する方法もある。
- ・駆除頭数など、具体的な数値を示した方が良い。

(No. 25)

- ・目標②の実施結果、人為的な涵養量40万m<sup>3</sup>/年について、手法や数値の根拠などを分かりやすく記載すべきではないか。

(No. 26)

- ・広報の方法について具体的に記載した方が良い。

#### 【グループB】

- ・審議会の評価については、No. 3～4まで全て達成状況と同一。

(No. 3)

- ・目標②、③について、行政で事業者の取り組みの方針を具体的に示してほしい。
- ・関係する市の部署が縦割りの的ではなく、横断的に情報共有して取り組んでほしい。

(No. 4)

- ・空家所有者からおろした空家のうちどのようなものが活用されたか、具体的にまとめて、空家所有者を中心に市民へ広く周知させてはどうか。

(No. 17)

- ・農業経営者の高齢化による荒廃農地の増加防止のためにも、若手の農業経営者の育成を関係部署と連携を密にして進めて欲しい。
- ・No. 18、19と合わせてプランや組織について情報発信と高齢化対策を行っていく必要がある。

(No. 18)

- ・目標②として荒廃農地の解消に向けた具体的な施策を加えるべきである。
- ・2. Do（実行）の実施結果の数値について、何を表しているのか、何の値であるか、分かりやすくしてほしい。

(No. 19)

- ・「エコファーマー」の具体的な取り組みを周知し、環境に配慮した農業を伝えていくべき。

(No. 20)

- ・食農教育の受け手の感想をまとめ、次年度の取り組みに生かしてほしい。

(No. 22)

- ・ No. 17やNo. 18とリンクさせていくべき。
- ・ ②について、そもそもなぜ安曇野の田園風景の保全を図るのか。そのためにどのような取り組みが行われているか。広報で事業を市民に知ってもらい、協力を促していくべき。

(No. 23)

- ・ 特になし。

(No. 24)

- ・ 内容について、より魅力あるものにすべき。
- ・ まちづくりのために、誰をターゲットに広報を行うか対象を絞る必要がある。
- ・ 他の関連する講座と合わせて開催してはどうか。

### 【グループC】

- ・ 審議会の評価については、No. 5～12まで全て達成状況と同一。また、現時点で数値の把握が困難なため達成状況の記載がないものは、数値把握後に開催する審議会において評価を行う。

(No. 5)

- ・ 目標③の補助金が、古い機器の更新でも利用できることをアピールしてほしい。
- ・ 目標③の補助金について、単価が適当か確認してほしい。
- ・ 新ごみ処理施設の稼働にあわせ、処理方法や金額などを見直し、よりよい仕組みをとるよう検討を進めてほしい。
- ・ 新ごみ処理施設がサーマルリサイクル施設、災害対応施設であることを、分別方法とあわせ十分周知してほしい。

(No. 6)

- ・ ごみ減量の見える化をしてほしい。
- ・ 目標②の展開検査や分別指導の結果を今後の取り組みに反映して行ってほしい。

(No. 7)

- ・ 特になし。

(No. 8)

- ・ ②について、受診がなかった理由を明確にし、メリットを伝えて受診を促してほしい。

(No. 9)

- ・ 目標③について、市有施設の指定管理者に参加してもらってはどうか。

(No. 10)

- ・ 公共施設の省エネ対応状況や、施設の改廃による費用対効果を確認し、投資の回収ができる範囲で効果の高い施設から順次改修等を進めてほしい。

(No. 11)

- ・ お金をかけずに省エネや環境保全を進める上で、「緑のカーテン」は良い取り組みだと思う。広く一般に実施してもらえるように、地域に根差した施設（公民館等）に声をかけてはどうか。

(No. 12)

- ・ FITの完了に対応し、蓄電池の導入補助などの仕組みを検討してほしい。また、その仕組みを市民に伝える場を設けてほしい。

(No. 27)

- ・ 地域公共交通網整備計画の中間評価に向けた分析などを進めてほしい。

<全体審議での意見>

(委員) No. 21について、駆除・防除にかかわる方の高齢化が懸念されるので、担い手の育成について検討をお願いしたい。

(委員) No. 16の実施結果の数値について、余白に説明を入れるなどして、市民にも分かるような記述をお願いしたい。

(会長) No. 24目標①について、講座の開催がなかったのは何故か。

(環境課) 出前講座でメニュー化しているものであり、要望があった場合に対応するものです。集まりがあるたび担当課で紹介したようですが、本年度は申し込みがなかったためです。

(委員) 出前講座以外の方法も考えられるのではないか。

(副会長) 出前講座のように申し込み待ちのものを重点取り組みとする意味があるのか疑問。見直しを行うのであれば、市が積極的に広報して開催することも検討していただきたい。

報告事項(2) 安曇野市環境行動計画(2018-2022)の一部見直しについて

報告事項(3) 環境基本計画 令和2年度 実施計画書について

<環境課から一括説明>

<質疑>

●安曇野市環境行動計画(2018-2022)について

(委員) No. 3の目標(2)、実施内容②の高い目標を捨て、実現可能なレベルに目標を切り下げたのは何故か。また、実施内容③の臭気モニターは定点観測であり、臭気を感じなかったことを把握することも科学的に重要だが、消したのは何故か。

(環境課) 目標(2)については、当然ゼロを目標として、改善計画の提出を求め、改善指導を行っていきます。また、臭気モニターについては、説明の中で申し上げたとおり継続します。臭気測定の結果、基準超過の事業者を把握し、それに対して改善指導等を行うものですので、計画に記載する目標としては定期的に行うものを採用しました。実施内容②については、悪臭防止法は基準値超過と市民からの苦情の2つが条件ですが、従前はその2つの条件が重なり、行政処分とその対応を行うことを前提とした記述となっているため、臭気測定の実施によって悪臭防止法を守り、基準値超過の事業者を出さないようにするという意味を含めて記載内容を改めたものです。実施内容③については、悪臭防止法の規定による勧告・命令を行うためには、いつ、どこで、誰が悪臭を出しているのかを把握することが必要なため、それらに対応できる公害監視員の巡回・監視による施設の特定を定めたものです。

(委員) 理解できない。ものすごい後退だと思う。当初の目標どおりでいいのではないか。21回/年という目標数値は、一般の市民にはきめ細かくやっているように見えるが、ごまかしである。臭気モニターは継続するお金がないのか。三郷地域畜産悪臭対策協議会で話題になっていないものをなぜはずしたのか。

(課長) 誤解を生む表現があったかと思います。私どもの考えと委員の考えとがすれ違う部分があると思いますので、事務局で精査して再提案させていただきます。

(委員) 市は形だけA評価となるよう目標値を下げたように思う。私の怒りを理解してほしい。なめていると三郷地域畜産悪臭対策協議会は紛糾する。今回の内容を報告するところだが、持ち帰りということであれば保留する。

(部長) 一旦取り下げ、再精査させていただきます。

(委員) NO. 16については、樹種転換やチップ化して撒くなど、松枯れ対策を総合的に考えてほしい。また、目標を市民にも分かりやすいものとしてほしい。目標値に3年間変化がなく、これでは予想値に対しての結果でしかなく、意味がない。

(環境課) 例として、目標値①は松枯れを600本/年以下に収めるというものです。前身の計画の評価の際、くん蒸の量や空中散布の面積ではあまり意味がないとのご意見をいただいたため、前述の対策を行った結果600本以下にできたという形に目標を変更した経過があります。

(委員) 一般の市民がわかる数値にできるか。

(環境課) 補足説明を加えることで対応します。

(委員) 表現は市で知恵を絞ってください。また、先ほど提案した樹種転換等、①～③以外の方法についてはどう考えるか。

(環境課) いただいたご意見は担当課に伝えます。

(委員) 予想(目標値)が当たったかどうかで評価するのは反対。意味のない数字をいじくするようなもの。安曇野市がなめられるだけだと思う。

(副会長) 任期の終わる委員、職員の異動もあり、審議会の意見が次年度の計画に反映するか不審である。松枯れに関しては、市の方針が明確でないのが一番の問題であり、松くい虫被害対策協議会も困っている。誰かが決めないといけない。計画の推進には費用対効果が大切。次の機会では、対策にかかった経費、効果、課題をまとめ、市の方針を示してほしい。

(委員) NO. 3の臭気測定の実施については、評価のことも記載してほしい。

(委員) No. 27について、行動計画にある地方公共交通網形成計画の中間評価を次年度の実施計画に入れて進めてほしい。

(委員) No. 16の実施内容に誤記入がある。確認不足であると思う。

(会長) No. 13～15の目標値①と②は整合しないように見えるが、誤りではないか。

(環境課) 誤りではありません。

(会長) 誤解をなくすような表現の追加をお願いします。

●環境基本計画 令和2年度 実施計画書について  
特になし。

(午後5時15分 議事終了 閉会)

#### 【今後の予定】

- ・4月21日(火)午後2時から 令和2年度 第1回環境審議会